

令和6（2024）年度 第1回柏崎市防災会議 会議録（要約）

1 日 時 令和6（2024）年9月2日（月） 午後1時27分から午後2時50分まで

2 場 所 市役所3階 災害対策本部会議室（庁議室）

3 出席者 出席者名簿のとおり（別紙1）

4 報告事項

- (1) 令和6（2024）年度柏崎市水害対応総合防災訓練の実施報告について
- (2) 令和6（2024）年度市民一斉地震対応訓練実施報告について
- (3) 令和6（2024）年度新潟県原子力防災訓練について
- (4) その他（津波ハザードマップ、中小河川浸水想定（洪水ハザードマップ）について）

5 協議事項

○令和6（2024）年1月1日能登半島地震を受けて

- (1) 被害状況・柏崎市の地震対策事業について
- (2) 各団体からの議題・意見
- (3) 質疑応答・意見交換

6 配布資料

- No. 1：令和6（2024）年度柏崎市水害対応総合防災訓練 実施結果
No. 2：令和6（2024）年度市民一斉地震対応訓練実施報告について
No. 3：令和6（2024）年度新潟県原子力防災訓練スケジュールについて
No. 4：中小河川浸水想定（洪水ハザードマップ）について
No. 5：「令和6年能登半島地震」による被害状況等
No. 6：能登半島地震を受けて柏崎市の取組内容
No. 7：「令和6年能登半島地震を受けて」各所属団体からの事前意見
（別冊）：柏崎市津波ハザードマップ

7 開会挨拶

（会長：市長）

本日は、令和6（2024）年度柏崎市第1回防災会議に皆様それぞれのご予定があるなか御参集いただきまして、本当にありがとうございます。

現在、市役所の多目的室で、いざというときにコミュニティセンター等で使っていただくためのかなり大きな容量の蓄電池を配布させていただいていることとございます。一昨年の大雪でも停電が起こったり、いろいろな災害の時にで電気が使えないという状況があったりします。そういった不安を少しでも解消していただくためです。

柏崎市防災会議は、市の条例に基づいて開催させていただいております。またこの上には、県の防災会議、さらに上には、国の中央防災会議・防災基本計画がございます。例年であれば、国の防災基本計画の改定後に、新潟県の防災計画の改定が行われ、それから市の防災計画が改定になります。しかし、今年は県が、元日の能登半島地震を受けて、原子力災害、一般災害を含めて地域防災計画の修正箇所を見直しています。柏崎市レベルで見直さなければいけないことを共有し、少しでも市民と皆様が安心して生活していただけるように、委員の皆様方からそれぞれ忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。よろしくお願いいたします。

8 報 告

■報告(1)

令和6(2024)年度柏崎市水害対応総合防災訓練の実施報告

→訓練の実施概要、訓練で見えた課題等について、資料No.1により事務局から報告

■報告(2)

令和6(2024)年度市民一斉地震対応訓練の実施報告

→訓練の実施概要について、資料No.2により事務局から報告

■報告(3)

令和6(2024)年度新潟県原子力防災訓練

→訓練の実施報告、今後の訓練スケジュールについて、資料No.3により事務局から報告

■報告(4)

その他(津波ハザードマップ・中小河川浸水想定)について

→今年度7月に配布した津波ハザードマップについて、事務局から報告

中小河川の浸水想定発表による洪水ハザードマップの新規作成について、事務局から報告

(会長)

以上、4つの報告事項について、質疑、意見を求めます。

→質疑・意見等なし

9 協 議

令和6(2024)年1月1日の能登半島地震を受けて

■協議(1)

柏崎市の被害状況・地震対策事業等について

→市内における地震の被害状況、被害に対する柏崎市の支援策等について、事務局から報告

■協議(2)

各団体からの課題・意見について、各団体から報告

→別紙2のとおり

■協議(3)

質疑応答・意見交換等

→別紙3のとおり

(会長：市長)

今回の大変活発な意見交換、議論を基に、市民の皆さんの安心をより豊かなものにしていければと考えております。ありがとうございました。以上で、すべての議題を終了とさせていただきます。

(閉会)

令和6（2024）年度第1回柏崎市防災会議出席者名簿

区 分	所属機関	役 職
会 長	柏崎市	市長
1 号委員	国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所柏崎維持出張所	所長
2 号委員	新潟県柏崎地域振興局	局長
3 号委員	柏崎警察署	署長
4 号委員	柏崎市教育委員会	教育長
5 号委員	柏崎市	消防長
5 号委員	柏崎市消防団	消防団長
6 号委員	柏崎市	副市長（危機管理監事務取扱）
6 号委員	柏崎市	上下水道局長
7 号委員	新潟県厚生農業協同組合連合会柏崎総合医療センター	病院長
7 号委員	柏崎商工会議所	副会頭
7 号委員	えちご中越農業協同組合	柏崎地区委員長
7 号委員	東日本旅客鉄道株式会社新潟支社柏崎駅	駅長
7 号委員	東日本電信電話株式会社新潟災害対策室	室長
7 号委員	東北電力ネットワーク株式会社柏崎電力センター	所長
7 号委員	株式会社新潟日報社柏崎総局	柏崎総局長
7 号委員	柏崎建設業協同組合	理事長
7 号委員	柏崎市ハイヤー協会	会長
7 号委員	株式会社柏崎日報社	代表取締役社長兼編集長
7 号委員	株式会社柏崎コミュニティ放送	
7 号委員	社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会	会長
7 号委員	一般社団法人新潟県歯科衛生士会柏崎ブロック	柏崎ブロック長
7 号委員	公益社団法人新潟県看護協会柏崎地区支部	副支部長
7 号委員	北陸瓦斯株式会社柏崎供給センター	供給センター長
7 号委員	原子力規制委員会原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所	所長
7 号委員	東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所	所長
8 号委員	柏崎市男女共同参画審議会	会長
8 号委員	かしわざき男女共同参画推進市民会議	会長
8 号委員	防災士チーム柏崎	会長

欠席の委員

6 号委員	柏崎市	副市長
7 号委員	一般社団法人柏崎市刈羽郡医師会	会長
7 号委員	日本通運株式会社中越支店柏崎営業所	所長
7 号委員	越後交通株式会社柏崎営業所	所長
7 号委員	公益社団法人新潟県トラック協会柏崎支部	支部長
8 号委員	柏崎市コミュニティ推進協議会	副会長

令和6年能登半島地震を受けて 各所属団体からの意見（事前集約）

別紙2

所属機関名	(1) 各所属機関における課題	(2) 他機関と連携したい点	(3)(1)(2)を踏まえて、柏崎市地域防災計画の修正点	事務局から補足
東日本旅客鉄道（株） 新潟支社 柏崎駅	災害時、社員等を派遣する必要がある場合に、どこかの道路が通行できるかの把握すること。			電車の運行状況は市民の関心が非常に高いため、迅速で正確な情報を提供を引き続きお願いします。市も柏崎駅への職員派遣を行っていきたい。また、道路状況について、防災行政無線やSNSなどで情報提供をしていきます。
越後交通（株） 柏崎営業所	当社は1月1日発生地震の際に、具体的な津波発生時マニュアルなどが無かったために多少の混乱が生じました。その後、3月に地震マニュアルの作成と地震発生特別訓練を実施した。	当社含め、柏崎市、警察、消防と情報共有ができる体制が整うとよい。	災害時における各部門の緊急連絡体制の相関図があればいいと思う。	訓練実施ありがとうございます。原子力災害も含めて、研修の充実等をお願いします。市としても依頼があれば講師として伺います。緊急連絡体制については、検討していきます。
柏崎建設業協同組合	人手不足と高齢化によるマンパワーの問題がある。有事の際に今後大きな障害となる。有事の際に一層の連携強化や適材適所等で最大の貢献ができるようにしていく必要があると考えている。まずは柏崎市と県地域整備部との一層の最新の現状認識の共有が必要と考えている。			実情は理解をしているところです。 国及び新潟県の建設部門には、市として働きかけてまいります。
柏崎市社会福祉協議会	中越沖地震から17年以上が経過し、災害ボランティアセンター立上げや運営に関する経験者が異動や退職でノウハウが引き継がれていない。市内の各団体等とのネットワークが途切れている状態となっている。それらを再構築する必要がある。	行政とは、福祉課を窓口として連携を密にし、災害ボラセンの立上げ・運営について、円滑に進めていきたい。		災害時にボランティアセンターは必要不可欠な存在です。運営、立ち上げについて、体制づくりと市との連携強化をこちらからもお願いします。
新潟県歯科衛生士会 柏崎ブロック	・新潟県歯科衛生士会地域保健委員会(災害支援班)として災害支援業務について委員会を開催(web会議) ・毎年9月の第1日曜日に災害連絡訓練を実施する ・昨年度作成した「災害時安否確認マニュアル」に基づき、グループラインにより、安否確認・被害状況を連絡確認する予定 ・今年度新潟県歯科衛生士会地域保健災害支援班にて災害研修会を計画中 ・個々に備えを心がける、住んでいる地域活動に参加・協力する ⇒それらを各会員に周知、活用して平時より実施していく。	仕事上地域活動中、例えば在宅訪問時等災害発生においての連携について確認していく必要がある。	災害時における医療救護に関することについて新潟県歯科医師会の指示のもと新潟県歯科衛生士会も業務にあたりたい。実際、新潟県中越地震・中越沖地震時も避難所・福祉避難所への巡回口腔ケア等に参加した経験がある。	長期化する避難所生活においては、健康管理、口腔ケアは大切な要素になるため、災害時を想定して、日頃から準備をお願いします。
北陸瓦斯（株） 柏崎供給センター	大規模地震によりガス管に被害が発生すると、その応急措置のために市内ガス工事業店へ応援要請することになるが、市内ガス工事業店は上下水道工事業にも携わっており、大規模地震発生直後においてガス管を修繕する工事業店の確保に課題を感じる。	大規模地震によりガスを供給停止し、全国のガス事業者からの応援隊が必要となる場合、柏崎市様に、ガス関連施設復旧作業に必要な資材置場、駐車場等として利用する施設の提供をお願いします。		災害時の対応について、常時から関連事業者と連携及び必要に応じた応援隊要請をお願いします。資材置場は先日、協議したとおり災害時の対応として踏まえておきます。
東京電力ホールディング（株）	現時点で特段の課題認識はございませんが、今後、新たな知見が確認されれば、その内容を踏まえてさらなる安全性向上を図ってまいります。 また、地震のみならず重大な事故が発生しても迅速な対応ができるように、引き続き、訓練等を重ねていきます。	既に柏崎市、その他関係機関の皆さまと連携させていただいているところです。その中での気づきを、改善していく中で、より良いものにしていければと考えております。なお、8月9日には柏崎消防との連携消火訓練を実施いたしましたが、見学をされた社外関係者からも好評価をいただいております。	現時点で、柏崎市地域防災計画を修正すべき事項はありませんが、今後とも連携訓練等で発電所としての課題が見つかりましたら、協議の上、改善を図ってまいります。	引き続きの安全・安心に関する社員の意識形成に期待と同時に厳しい目も注がれていることを改めて認識いただくとともに、市民とのさらなる信頼関係を構築しながら、安全・安心への取り組みを継続していただきたい。
原子力規制委員会原子力規制庁柏崎刈羽原子力規制事務所	複合災害時は、人命最優先の観点から自然災害に対する安全が確保された後に、原子力災害に対応することが基本である。また、屋内退避を効果的に運用するには、放射性物質が放出されるタイミングにおいて確実に実施する必要がある一方で、屋内退避は長期にわたる継続が困難である。しかし、屋内退避の解除や避難への切替えの判断の考え方は示されていない。以上を踏まえ、屋内退避という防護措置を最も効果的に運用するため、主に①屋内退避の対象範囲及び実施期間、②上記の対象として想定すべき事態の進展の形、③屋内退避の解除又は避難・一時移転への切替えを判断するにあたって考慮する事項について検討中である。	原子力災害への迅速かつ円滑な初動体制の確保のためにも、平素から緊急時通信連絡や、主としてこの地域の実動組織との災害発生時連携を深めるべく原子力災害対策地域連絡会議柏崎刈羽地域連絡会議を事務所としても積極的に計画しており、是非ともご参加いただきたい。当方としても、県計画の原子力防災訓練への参加、内閣府主催の図演等を通じ、関係機関との協力体制の構築に努めてゆく。	自然災害と原子力災害との複合災害、あるいは冬期積雪時における原子力災害発生時の避難計画作成に関する事項については、引き続き防災専門官を通じて協力させていただきたい。	複合災害の防護措置、特に屋内退避については、市民からも漠然たる不安等を含めて、非常に関心の高い事項になっているため、引き続き、屋内退避を最も効果的に運用するため検討をお願いするとともに、市民への分かりやすく、丁寧な説明をお願いしたい。
コミュニティ振興協議会	コミセンの開設は指示どおり実施したが、利用者は2・3名だった。	町内への安否確認等の指示は市として窓口を一本化したほうが良い。	一般の報道とは別に、市として地域に適した情報をしてほしい。今回の津波情報について住民が混乱し、渋滞を招いた。	過度な情報発信があった。正しく恐れてもらうために、適切な情報発信に努めています。
柏崎市男女共同参画審議会	防災に関する政策や方針の決定過程や現場対応においても、男女共同参画の視点が求められており、防災会議や防災担当部局の女性登用の少なさが課題である。災害時においては、災害から受ける影響やニーズは性別によっても異なることから、避難所運営については、女性スペースの設置や女性ならではの相談対応等、特に女性目線が必要である。災害が頻発する今日においては、実質的な取り組みを加速していくことが急務であり、本市の避難所におけるプライバシー保護の観点や要配慮者向けの備蓄品の選定等に専門性を備えた女性の意見を取り入れる取り組みを継続してほしい。		地域防災計画「地震災害対策編」第1編第3章第7節「避難及び避難所対策」（P192）に「10 男女共同参画及び性的少数者の視点に立った避難所運営」の項目があります。記載内容としては、国の男女共同参画部局が求めていることも含まれており、特に修正は必要ないのかと思います。実効性を伴っているかというところが重要な視点なのかと思っています。	備蓄品の品目、避難所の運営等について、女性目線を取り入れていくために、法律上の課題があれば指摘をお願いします。実効性については、今後訓練の評価項目に取り入れるなどの検討をしていきます。
防災士チーム柏崎	8月2日に政府の地震調査委員会が公表した新潟県周辺海域の活断層に関する新聞記事によると、「上越沖活断層」は3つの活断層が隣り合い、連動して大地震を起こした場合の規模はM7.8～M8.1程度であった。となると、想定される津波の高さについて見直しが必要なのではないかと思われる。		2024年7月に配布された「津波ハザードマップ」について「99%の方は避難不要です」の文言も再考したほうが良いと思われる。（地震調査委員会の公表とは別に”災害は想定を超える被害がある”（東日本大震災で証明）ということ踏まえて、万一被害者が出てしまい、訴訟を起こされた場合、市は賠償責任を負うことになる。）市民が”災害は想定にとらわれず”主体的に避難行動をするということ浸透させていく。時間を要するが、学校での避難訓練、町内会等の研修を重ねていくことで浸透させる。	先般の新しい情報は、現在想定されている津波の高さへの影響が不明確であり、直ちに計画へ反映することは考えていません。新潟県は今後、この評価を受け、必要に応じて情報の更新を行っていく見込みです。新潟県から津波災害警戒区域等の変更を受けた後に、委員の皆様に変更、その内容及び本市の対応をお諮りします。

所属機関名	質疑・意見等	事務局・会長から回答・補足
防災士チーム柏崎	ボランティアで音声役をしている。先日、目の不自由な方と話した際に、中越沖地震の時に盲導犬を連れて避難所に行きづらかった、食べ物とかを貰いに行ったが結局家で過ごしたというような、話を聞いた。災害弱者の方々は、今から不安を感じているのではないと思う。ペット避難について、今回の水害対応訓練では実施したとのことなのですが、盲導犬はペットと少し違う話なので、その辺の対応も考えていただければと思う。	(事務局) 今年の訓練においても、障害者の方が避難所に来た場合、どういう設えをしたらいいかという訓練は実施した。ただ、まだ課題はあるため、関係する福祉課、介護高齢課を含めて、当事者の方と意見交換しながら、改善に努めていきたい。
柏崎コミュニティ放送	市民一斉地震対応訓練が、7月13日土曜日に行われましたが、なぜこの日に実施したのか教えてほしい。災害が発生したその日（7月16日：中越沖地震）を忘れないという意味で、同じ日付に実施することが多いと思うが。	(事務局) 以前に市長の記者会見でも触れたが、今年の7月16日が平日だった。マンネリ化を防ぐために休日の実施や日を変えて実施することで、より一層訓練に参加していただくためである。
ハイヤー協会	今年の台風10号によって、日本全国各地に水害が起こっている。柏崎市においては、市役所や柏崎駅が一番低い土地である。新聞では、時間50ミリの雨量を想定していると書いてあるのを見たが、柏崎の場合はどれくらいの雨量を想定しているのか。また想定を超える雨が降ると予測できる。想定を上げてもいいのではないか。	(事務局) 当市が出している洪水ハザードマップについては、1000年に一度の雨を想定している。河川によって想定は違うが、鶴川で言えば、2日間雨量が890ミリに達した場合という、非常に大きな想定となっている。 (会長) この新庁舎を作るにあたり、市議会からも水上がりは大丈夫かという指摘をいただいた。それらを踏まえて、かなり厳しい想定をしながらも、その厳しい想定に耐え得るような構造となっておりますので、市役所、建物等に関しましてはご安心していただきたい。
男女共同参画市民会議	先程、災害弱者という話があったが、17年前の中越沖地震の時に、外国の方々が大変苦労されたというのを聞いた。先日、我が町内でも納涼会を開いた際に、町内に住んでいるベトナムの方々に声をかけて誘おうと思ったが、日本語が通じなかった。外国人の方々への防災や避難に対しての周知はどうしているのか。	(事務局) 先日、ホームページにおいて防災情報を伝えるページの多言語化対応を実施した。合わせて、国際化協会の皆様方と協力をし、外国語を話せる方と連携を図っていきたい。
東日本通信電話（株） 新潟災害対策室	訓練の時、マイナンバーの受付で、模擬カードを使って実施されたと書いてあった。素晴らしい取り組みだと思っているが、実際、有事の際にマイナンバーを市民の方が持ってくることができるのか。今後のアナウンスなど、その辺どのように計画、予定されているか。	(事務局) 現在、柏崎市はマイナンバー保有率が8割を超えている。周知が行き届きさえすれば、多くの方がお持ちいただけるだろう考えている。HP、SNS、訓練などを通して、災害時にはマイナンバーを持って行くということの周知を行ってきたい。
新潟県厚生農業協同組合連合会 柏崎総合医療センター	災害の発生時も、多くの傷病者、入院患者をかかえている。毎月いろいろな想定で話し合いをしているが。原子力防災に関して、訓練自体が県や国が主体であり、なかなか参加する機会がない。県や国の訓練担当の方とお話ができるのであれば、防災担当の職員もいるので、協力したい。	(会長) 今まで、その点に意識を及ばせられなかったことは大変を申し訳なかった。災害時いざというときには、皆さんのところにお世話になるところが大きい。県、国とも連携して、いろいろな訓練、また訓練以外にも原子力災害が起こったときに医療機関とどういうふうに連携していくか、柏崎地域にとってみれば基幹的な病院である柏崎総合医療センターでありますので、今後必ず連携をとらせていただきたい。
防災士チーム柏崎	柏崎は、夏になると海水浴のお客さんが県外からも来る。海岸沿いに避難看板などの標識はあるが、さらに目立つ、目をひくような（えちゴンなどを使った）ものを作ると良いのではないか。	(事務局) ご意見として承ります。毎年、海開きの前に、地震・津波が起こったことを想定し、ライフセーバー等と連絡体制や避難対応について、共有をしている。
新潟日報社柏崎総局	津波に対して「99%の方は避難不要です」の文言を再考した方がよいという意見に対する、認識、回答がわかりにくかった。もう一度教えてほしい。海が見える場所にて、危険と判断しても勝手に逃げることは良くないのか。	(事務局) 津波ハザードマップに基づけば99%の方は避難不要という認識を示している。津波注意報、津波警報についてはハザードマップの中にその大部分収まるであろうという認識である、一方で大津波警報が出た場合は、ハザードマップの想定を超える可能性があるため、浸水想定区域外の方においても、広く避難の呼びかけを行っていく。また、ハザードマップは、避難を妨げるものではない。命を守る最善の行動を各個人において行うことが前提である。その避難行動を考える上で、参考となる情報の一つとして、皆様方にお示ししているものである。